

国際協力の取り組みについて

アジア・アフリカなどの諸都市においては、廃棄物処理が重要な課題となっており、特に、分別・リサイクルに関する技術やノウハウへのニーズが高まっています。本市としては、これまでの実績をふまえ、国際局や関係機関と連携し、廃棄物分野で積極的に国際協力に取り組んでいきます。

1 Y-PORT 事業と連携した技術協力の取組

(1) JICA（国際協力機構）草の根技術協力事業によるベトナム・ダナン市への支援

平成 28 年 8 月に、横浜市と地球環境戦略研究機関（IGES）が提案した、ダナン市における分別促進モデル事業が、JICA に採択されました。

12 月下旬には、ダナン市で開催される「ダナン都市開発フォーラム」にて、4 者（ダナン市、JICA、IGES、横浜市）による当該事業内容の確認を行います。

今後、モデル地区における分別・リサイクルの実施に向け、市内企業との連携も含め、技術協力を進めます（事業期間：平成 28 年度～平成 30 年度）。

(2) フィリピン・セブ市への支援

セブ市においては、平成 24 年度から、市内企業が、廃プラスチックを選別リサイクルするプロジェクトを展開しています。引き続き、企業との情報交換等を行い、現地のニーズを踏まえた支援を行います。

2 海外諸都市への情報発信・交流

(1) 海外視察の受入

工場の焼却メカニズム・余熱利用、市民・事業者によるごみ分別の実施方法、環境学習、ごみ処理の費用負担に高い関心が寄せられています。

【視察受入実績】27 年度：139 人、28 年度（11 月末時点）：145 人

(2) 国際会議への参加

28 年度は、「アフリカ開発会議」「アジア太平洋 3 R 推進フォーラム」「アジアスマートシティ会議」に参加し、本市の取組について積極的に広報しました。

(3) 関係機関との連携

国や JICA 等の国際機関と連携し、海外諸都市での案件を調査するとともに、事業の実施における本市や市内企業等の参画の検討などを進めます。

3 市内企業との連携

廃棄物の収集運搬やリサイクル技術等を有する市内企業へ、Y-PORT 事業を含めた本市の有する情報の提供、また、意見交換を行い、連携した取組につなげていきます。